

食育に関する県民意識調査 報告書

平成29年10月

沖縄県保健医療部健康長寿課

目次

本報告書を読む際の注意	1
I 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査項目	2
3 調査対象	2
4 調査時期	3
5 調査方法	3
6 調査実施委託機関	3
7 回収結果	3
8 性・年齢別回収結果	3
9 地区・市町村別回収結果	3
II 調査結果の概要	4
III 調査結果の詳細	7
1 食育への関心について	7
（1）食育への関心度	7
（2）食育への関心理由	10
（3）ふだんの食生活で特に力を入れたい食育の内容	13
2 現在の食生活について	17
（1）健全な食生活の心掛け	17
（2）栄養バランスに配慮した食生活	20
（3）栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと	23
（4）朝食摂取頻度	27
（5）朝食欠食の開始時期	30
（6）食品を選択する際に重視すること	33
（7）そう菜の購入頻度	37
（8）そう菜の購入理由	40
（9）PRや表示がされていると関心を持つ調理済み食品	44
3 共食や孤食の状況	47
（1）家族と一緒に食べる頻度	47
（2）家族と一緒に食べることの良い点	52
（3）地域などでの共食に対する意識	56
（4）地域などでの共食経験	59
4 生活習慣病の予防や改善に関する食意識や実践について	62
（1）生活習慣病の予防や改善に関する実践	62
（2）生活習慣病の予防や改善を実践しない理由	65
（3）ふだんゆっくりよく噛んで食べているか	69
（4）ゆっくりよく噛んで食べるために必要なこと	72
5 食品の安全性について	76

(1) 食品の安全性に関する知識	76
(2) 食品の安全性に関する判断	79
(3) 安全な食生活を送るための意識や判断	82
(4) 信頼できる食品安全に関する情報源	89
6 食文化の継承及び伝承について	93
(1) 食文化の継承	93
(2) 食文化の伝承	96
7 食に関する感謝の念や環境への配慮	99
(1) 日頃の食生活での実感の有無	99
(2) 農林漁業体験への参加	104
(3) 食べ残しや食品の廃棄に対する意識	107
(4) 食べ残しを減らす努力	110
IV 調査票（付：単純集計結果）	112
V 集計表	126
集計表 1 Q 1	126
集計表 2 Q 2	128
集計表 3 Q 3	132
集計表 4 Q 4	136
集計表 5 Q 5	138
集計表 6 Q 6	140
集計表 7 Q 7	144
集計表 8 Q 8	146
集計表 9 Q 9	150
集計表 10 Q 1 0	152
集計表 11 Q 1 1	154
集計表 12 Q 1 2	156
集計表 13 Q 1 3	160
集計表 14 Q 1 4	162
集計表 15 Q 1 5	164
集計表 16 Q 1 6	168
集計表 17 Q 1 7	170
集計表 18 Q 1 8	174
集計表 19 Q 1 9 (1)	178
集計表 20 Q 1 9 (2)	180
集計表 21 Q 2 0	182
集計表 22 Q 2 1	184
集計表 23 Q 2 2	186
集計表 24 Q 2 3	188
集計表 25 Q 2 4	190
集計表 26 Q 2 5	192

集計表 27	Q 2 6	194
集計表 28	Q 2 7 (1)	196
集計表 29	Q 2 7 (2)	198
集計表 30	Q 2 7 (3)	200
集計表 31	Q 2 8	202
集計表 32	Q 2 9	206
集計表 33	Q 3 0	208
集計表 34	Q 3 1	212
集計表 35	Q 3 1 (1)	214
集計表 36	Q 3 1 (2)	216
集計表 37	Q 3 1 (3)	218
集計表 38	Q 3 1 (4)	220
集計表 39	Q 3 1 (5)	222
集計表 40	Q 3 1 (6)	224
集計表 41	Q 3 2 (1)	226
集計表 42	Q 3 2 (2)	228
集計表 43	Q 3 3	230
集計表 44	Q 3 7	234
集計表 45	Q 3 8	236
集計表 46	Q 3 9	238
集計表 47	Q 3 9 (1)	240
集計表 48	Q 3 9 (2)	242
集計表 49	Q 3 9 (3)	244
集計表 50	Q 3 9 (4)	246

本報告書を読む際の注意

- 1 nは質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。なお、特に数字を示していない場合はn=1,086人（有効回収数）である。
- 2 標本誤差は回答者数（n）と得られた結果の比率によって異なるが、単純任意抽出法（無作為抽出）を仮定した場合の誤差（95%は信頼できる誤差の範囲）は下表の通りである。

各回答の 比率 n	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
1,086	1.8%	2.4%	2.7%	2.9%	3.0%
1,000	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
500	2.6%	3.5%	4.0%	4.3%	4.4%
100	5.9%	7.8%	9.0%	9.6%	9.8%

なお、本調査のように層化2段抽出法による場合は標本誤差が若干増減することもある。

- 3 質問の種類を示す記号は次の通りである。
 - S Q : 前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問（Sub Questionの略）。
 - M. A. : 1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問（Multiple Answersの略）。
 - 3 M. A. : 1回答者が3つ以下までの回答をすることができる質問。
 M. A. と 3 M. A. は共に、M. T.（Multiple Totalの略）は回答数の合計を回答者数（n）で割った比率であり、通常その値は100%を超える。
- 4 結果数値（%）は小数点第2位以下を四捨五入してあるので、内訳の合計と小計、合計が一致しないこともある。
- 5 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を簡略化している場合がある。
- 6 調査結果の分析記述においては、属性別（性・年齢層別、地区別など）や質問間のクロス集計を行い、表で示している。また、表中の数値で、全体平均や属性項目間で比較し、全体平均より高い数値について網掛けで示している。なお、属性項目で無回答だった人の回答は除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- 7 調査結果の分析記述においては、農林水産省が平成28年度に実施した全国調査の結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」）と比較し、本県の特徴的な回答についてコメントしている。なお、全国調査の結果は、層化2段無作為抽出法によって抽出された全国20歳以上の者3,000人を対象に行われた個別面接聴取調査で、有効回答が得られた1,874人の回答をもとにまとめられている。